

**絶対にミスしないための
キャッシュ・フロー計算書作成方法
[例題]**

がんちゃん／岩間 (タキプロ)

例題：次のB/S(2カ年), P/Lに基づいて、 CF計算書を作成します。

(以降、特に断りがない場合は単位は百万円とします)

貸借対照表

	平成25 年度末	平成26 年度末	差異		平成25 年度末	平成26 年度末	差異
流動資産	930	954	24	流動負債	760	722	△ 38
現金及び預金	210	222	12	仕入債務	350	360	10
売上債権	400	420	20	短期借入金	400	350	△ 50
有価証券	20	22	2	未払利息	10	12	2
棚卸資産	300	290	△ 10	固定負債	210	252	42
固定資産	500	510	10	長期借入金	200	240	40
建物・機械	500	510	10	退職給付引当金	10	12	2
				負債合計	970	974	4
				資本金	60	60	0
				繰越利益剰余金	400	430	30
				純資産	460	490	30
資産合計	1,430	1,464	34	負債・純資産合計	1,430	1,464	34

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

5ステップに分けて説明します。



Step1

～営業CFの逆算過程まで～

(Step1は従来どおりです。
メモ用の補助列はStep2以降で使います)

(Step1: 営業CFの逆算過程まで)

1-1 従来どおり、まずは**税引前当期純利益**を
転記します。

CF計算書

1	税引前当期純利益	60
	行番号です。 本資料で説明の都合上設けていますが、答案には記載不要です。	



売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step1: 営業CFの逆算過程まで)

1-2 従来どおり、**非資金支出費用**を記入します。

※非資金支出費用は、
減価償却費、貸倒引当金、退職給付費用です。

1	税引前当期純利益	100
2	減価償却費	100
3	退職給付費用	2

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step1: 営業CFの逆算過程まで)

1-3 従来どおり、**営業利益～税引前当期純利益**の逆算過程を記入します。

1	税引前当期純利益	60
2	減価償却費	100
3	退職給付費用	2
4	営業外収益	△ 8
5	営業外費用	48

逆算ですから、
収益の場合はマイナスし、
費用の場合はプラスします

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step1: 営業CFの逆算過程まで)

1-4 ここまでのお小計をメモします。

※この過程は答案には書きません。

1	税引前当期純利益	60
2	減価償却費	100
3	退職給付費用	2
4	営業外収益	△ 8
5	営業外費用	48
6	(ここまでのお小計)	(202)

$$60 + 100 + 2 + \triangle 8 + 48 \\ = 202$$

Step2

～営業CFの最後まで～

(Step2から、4列の補助列を記入します)

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-1 ここから4列の補助列を用います。
まず、4列のタイトルを記入します。

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-2 売上債権・棚卸資産の変化額をB/Sから

そのまま転記します。額はあとでまとめて計算します

1 税引前当期純利益	60
2 減価償却費	100
3 退職給付費用	2
4 営業外収益	8
5 営業外費用	48
6 (ここまでのおよその合計)	02)
7 売上債権の増加額	20
8 棚卸資産の減少額	△ 10

額は後でまとめて
計算するので、
今は埋めません

B/S
資産
増減

B/S
負債・
純資產
増減

[B/S資産増減]
の列に転記

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-3 同様に、仕入債務の変化額をB/Sから転記します。

1 税引前当期純利益	60
2 減価償却費	100
3 退職給付費用	2
4 営業外収益	△ 8
5 営業外費用	48
6 (ここまで的小計)	(2)
7 売上債権の増加額	20
8 棚卸資産の減少額	△ 10
9 仕入債務の増加額	10

額は後で
計算します

B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
20			
△ 10	10		
			[B/S負債・純資産増 減]の列に転記

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
△ 10	固定負債	42	
10	長期借入金	40	
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-4 小計の項目を追加します。

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-5 営業外収入に影響する科目をB/SとP/Lから探し、額を転記します。

1 税引前当期純利益	60
2 減価償却費	100
3 退職給付費用	2
4 営業外収益	△ 8
5 営業外費用	48
6 (ここまで的小計)	(202)
7 売上債権の増加額	20
8 棚卸資産の減少額	△ 10
9 仕入債務の増加額	10
10 小計	
11 営業外収入	

額は後で
計算します

B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
20			
△ 10			
	10		
			8

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-6 同様に営業外支出について、額を転記します。

1 税引前当期純利益	60
2 減価償却費	100
3 退職給付費用	2
4 営業外収益	△ 8
5 営業外費用	48
6 (ここまで的小計)	(202)
7 売上債権の増加額	20
8 棚卸資産の減少額	△ 10
9 仕入債務の増加額	10
10 小計	
11 営業外収入	
12 営業外支出	

額は後で
計算します

B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
20			
△ 10			
	10		
	2	48	8

貸借対照表

	差異		差異
:	:	:	:
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
	:	:	:

損益計算書

:	:
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
:	:

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-7 同様に法人税等支払額について、額を転記します。

		B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△ 8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額	20			
8	棚卸資産の減少額	△ 10			
9	仕入債務の増加額		10		
10	小計				
11	営業外収入				8
12	営業外支出	2	48		
13	法人税等の支払額			24	

額は後で
計算します

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-8 営業CF合計の項目を追加します。

		B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△ 8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額	20			
8	棚卸資産の減少額	△ 10			
9	仕入債務の増加額		10		
10	小計				
11	営業外収入				8
12	営業外支出		2	48	
13	法人税等の支払額			24	
14	営業CF				

額は直後に
計算します

営業CFの項目はB/SやP/Lか
ら引用する値ではないため、
メモは書きません

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-9 これまでの項目について額を計算します。

借方科目はマイナスし貸方科目はプラスします。

		B/S資産増減と P/L費用	B/S負債・純資產増減 とP/L収益			
		60	-	+	-	+
1	税引前当期	100				
2	減価償却費		-			
3	退職給付費用	2	+		-	
4	営業外収益	△ 8				
5	営業外費用	48				
6	(ここまで的小計)	(202)				
7	売上債権 $-20 = \triangle 20$	△ 20	-	20		
8	棚卸資産 $-\triangle 10 = 10$	10	-	△ 10		
9	仕入債務 $+10 = 10$	10	+	10		
10	小計					
11	営業外収益 $+8 = 8$	8				+
12	営業外費用 $+2 - 48 = \triangle 46$	△ 46	+	2	-	48
13	法人税等 $-24 = \triangle 24$	△ 24			-	24
14	営業CF					

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-10 小計を計算します。

		B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△ 8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額	△ 20	20		
8	棚卸資産の減少額	10	△ 10		
9	仕入債務の増加額	10			
10	小計	202			
11	営業外収入	8			8
12	営業外支出	△ 46	2	48	
13	法人税等の支払額	△ 24		24	
14	営業CF				

$$202 + \triangle 20 + 10 + 10 = 202$$

(Step2: 営業CFの最後まで)

2-11 営業CF(合計)を計算します。

		B/S 資産 増減	B/S 負債・ 純資産 増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△ 8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額	△ 20	20		
8	棚卸資産の減少額	10	△ 10		
9	仕入債務の増加額	10		10	
10	小計	202			
11	営業外収入	8			
12	営業外支出	△ 46			
13	法人税等の支払額	△ 24			
14	営業CF	140			

Step3

～投資CF～

(Step3: 投資CF)

3-1 建物・機械の取得に影響する科目をB/S、
P/Lから探し、額を転記します。

貸借対照表

		B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140			
15	建物・機械の取得による支出		10	60,40	

額は後で
まとめて
計算します

	差異		差異
：	：	：	：
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
負債合計			4
：	：	：	：

損益計算書

：	：
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
：	：
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
：	：

(Step3: 投資CF)

3-2 同様に有価証券の取得について、額を転記します。

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step3: 投資CF)

3-3 投資CFの項目を追加します。

投資CFの項目はB/SやP/Lから引用する値ではないため、メモは書きません

(Step3: 投資CF)

3-4 営業CFのときと同様に、これまでの項目について額を計算します。

			-	+	-	+
			資産増減	負債・純資産増減	費用	収益
:	:	:			:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	- 10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	- 2			
17	投資CF					
		額はこの次に計算します				

(Step3: 投資CF)

3-5 投資CF(合計)を計算します。

Step4

～財務CF～

(Step4: 財務CF)

4-1 短期借入に影響する科目をB/S、P/Lから探し、額を転記します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:		:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額			△50		
		額は後で 計算します				

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	△ 20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step4: 財務CF)

4-2 同様に長期借入について、額を転記します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額			△50		
19	長期借入金の増加額			40		
		額は後で 計算します				

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step4: 財務CF)

4-3 同様に配当金の支払について、額を転記します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額			△50		
19	長期借入金の増加額			40		
20	配当金の支払額		30	36		
		額は後で 計算します				

貸借対照表

差異			差異
:	:	:	:
		資本金	0
		繰越利益剩余额	30
		純資產	30
:	:	:	:

損益計算書

法人税等	24
当期純利益	36

(Step4: 財務CF)

4-4 財務CFの項目を追加します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額			△50		
19	長期借入金の増加額			40		
20	配当金の支払額			30	36	
21	財務CF					
		額は後で 計算します				

財務CFの項目はB/SやP/Lから引用する値ではないため、
メモは書きません

(Step4: 財務CF)

4-5 営業CF・投資CFのときと同様に、これまでの項目について額を計算します。

			-	+	-	+
			資産増減	負債・純資産増減	費用	収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額	△ 50		+△50		
19	長期借入金の増加額	40		+ 40		
20	配当金の支払額	△ 6		+ 30	- 36	
21	財務CF					
		額はこの次に計算します				

(Step4: 財務CF)

4-6 財務CF(合計)を計算します。

			B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
:	:	:	:	:	:	:
14	営業CF	140				
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40	
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2			
17	投資CF	△112				
18	短期借入金の減少額	△ 50		△50		
19	長期借入金の増加額	40		40		
20	配当金の支払額	△ 6		30	36	
21	財務CF	△ 16		△50+40+△6 =△16		

Step5

～検算～

(Step5: 検算)

5-1 営業CF + 投資CF + 財務CF

= 現金及び現金同等物の増加額 を確認します。

		B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△ 8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額	△ 20	20		
8	棚卸資産の減少額	10	△ 10		
9	仕入債務の増加額	10		10	
10	小計	202			
11	営業外収入	8			
12	営業外支出	△ 46			
13	法人税等の支払額	△ 24			
14	営業CF	140			
15	建物・機械の取得による支出	△ 110	10		60,40
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2		
17	投資CF	△ 112			
18	短期借入金の減少額	△ 50		△ 50	
19	長期借入金の増加額	40		40	
20	配当金の支払額	△ 6		30	36
21	財務CF	△ 16			

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△ 38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△ 50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△ 10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		純資産	30
資産合計	34	負債・純資産合計	34

(Step5: 検算)

5-2 [ここまで的小計]欄 (=税引前利益+非資金支出項目+逆算過程) = 営業利益+非資金支出費用 を確認します。

		B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額	△20	20		
8	棚卸資産の減少額	△10	△10		
9	仕入債務の増加額	10		10	
10	小計	202			
11	営業外収入	8			8
12	営業外支出	△46	2	48	
13	法人税等の支払額	△24		24	
14	営業CF	140			
15	建物・機械の取得による支出	△110	10	60	
16	有価証券の取得による支出	△2	2		
17	投資CF	△112			
18	短期借入金の減少額	△50		△50	
19	長期借入金の増加額	40		40	
20	配当金の支払額	△6		30	36
21	財務CF	△16			

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	△8
営業利益+非資金支出項目	
=100+(60+40+2)	
=202	
当期純利益	36

(Step5: 検算)

5-3-1 [B/S資産]欄合計額と B/Sの資産(現金及び預金除く)とを比べます。

		B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額	△20	20		
8	棚卸資産の減少額	10	△10		
9	仕入債務の増加額	10		10	
10	小計	202			
11	営業外収入	8			8
12	営業外支出	△46		2	48
13	法人税等の支払額	△24			24
14	営業CF	140			
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		
16	有価証券の取得による支出	△2	2		
17	投資CF	△112			
18	短期借入金の減少額	△50		△50	
19	長期借入金の増加額	40		40	
20	配当金の支払額	△6		30	36
21	財務CF	△16			

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		B/S上の合計	0
		=20+2+△10+10	30
		=22	30
資産合計	3	負債・純資産合計	34

(Step5: 検算)

5-3-2 [B/S負債・純資産]欄合計額と B/Sの負債・純資産 とを比べます。

1	税引前当期純利益	60
2	減価償却費	100
3	退職給付費用	2
4	営業外収益	△8
5	営業外費用	48
6	(ここまで的小計)	(202)
7	売上債権の増加額	CF上の合計
8	棚卸資産の減少額	=10+2+△50+40+30
9	仕入債務の増加額	=32
10	小計	
11	営業外収入	8
12	営業外支出	△46
13	法人税等の支払額	24
14	営業CF	10
15	建物・機械の取得による支出	△110
16	有価証券	退職給付引当金増加額の2
17	投資CF	だけ一致しません。このこ とを覚えておきつつ次に進 みます。
18	短期借入	
19	長期借入	
20	配当金の	
21	財務CF	△16

B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
0	0		
0	10		
2	48	24	8
10	24	48	24
10	60,40		
△50	40		
40	30	36	
			△16

貸借対照表

	差異		差異
流動資産	24	流動負債	△38
現金及び預金	12	仕入債務	10
売上債権	20	短期借入金	△50
有価証券	2	未払利息	2
棚卸資産	△10	固定負債	42
固定資産	10	長期借入金	40
建物・機械	10	退職給付引当金	2
		負債合計	4
		資本金	0
		繰越利益剰余金	30
		計	30
		△	34

B/S上の合計
=10+△50+2+40+2+30
=34

(Step5: 検算)

5-3-3 [P/L費用]欄合計額と営業利益以降の費用 + 非資金支出費用とを比較します。

		B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△ 8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額				
8	棚卸資産の減少額				
9	仕入債務の増加額				
10	小計				
11	△ 202				
12	△ 46				
13	△ 24				
14	140				
15	る支出	△ 110	10	60,40	8
16	△ 112	2			
17	投資CF				
18	短期借入金の減額				
19	長期借入金の増額				
20	配当金の支払額	=60+40+2+48+24+36		30	36
21	財務CF	=210			

CF上の合計
 $=48+24+60+40+36$
 $=208$

P/L上の費用(営業利益以降)
+非資金支出費用
 $=60+40+2+48+24+36$
 $=210$

退職給付費用の2だけ一致しません。このことを覚えておきつつ次に進みます。

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

(Step5: 検算)

5-3-4 [P/L収益]欄合計額と営業利益以降の収益とを比べます。

1 税引前当期純利益	60
2 減価償却費	100
3 退職給付費用	2
4 営業外収益	△8
5 営業外費用	48
6 (ここまで的小計)	(202)
7 売上債権の増加額	△20
8 棚卸資産の減少額	10
9 仕入債務の増加額	10
10 小計	202
11 営業外収入	8

これまでの過程で一致しなかったのは、
「退職給付引当金増加額」の2(5-3-2 借方)と
「退職給付費用」の2(5-3-3 貸方)でした。
それぞれCFでは2と△2となり、これらは相殺
しあうため問題はありません。
なお、本例は退職給付引当に関してでしたが、
配当金支払額がゼロの場合も同じことが起きま
す。

B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
2	48		8
	24		
	△50		
2	40		
	30	36	

損益計算書

売上高	3,000
売上原価	2,400
(うち減価償却費)	60
売上総利益	600
販売費・一般管理費	500
(うち減価償却費)	40
(うち退職給付費用)	2
営業利益	100
営業外収益	8
営業外費用	48
経常利益	60
税引前当期純利益	60
法人税等	24
当期純利益	36

これで完了です。

キャッシュ・フロー計算書

		B/S 資産増減	B/S 負債・純 資産増減	P/L 費用	P/L 収益
1	税引前当期純利益	60			
2	減価償却費	100			
3	退職給付費用	2			
4	営業外収益	△ 8			
5	営業外費用	48			
6	(ここまで的小計)	(202)			
7	売上債権の増加額	△ 20	20		
8	棚卸資産の減少額	10	△10		
9	仕入債務の増加額	10		10	
10	小計	202			
11	営業外収入	8			8
12	営業外支出	△ 46		2	48
13	法人税等の支払額	△ 24			24
14	営業CF	140			
15	建物・機械の取得による支出	△110	10		60,40
16	有価証券の取得による支出	△ 2	2		
17	投資CF	△112			
18	短期借入金の減少額	△ 50		△50	
19	長期借入金の増加額	40		40	
20	配当金の支払額	△ 6		30	36
21	財務CF	△ 16			